

哲學研究

第四十七卷 第七册

第五百四十九號

昭和五十九年四月二十日發行

彙報

人類はなぜ人類なのか ——「未完の人類」——	江原昭善
曼荼羅の構成……	清水善三
いわゆる「原型」思想について…… ——動物学における「比較」概念の問題——	日高敏隆
体験と形而上学…… ——ジャンケレヴィツチ哲学の理解の試み——	林愛子
〔報告〕バサテナの冬……	平野俊二
〔書評〕下村寅太郎…… 『ブルクハルトの世界』	嶺秀樹

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
 - (一) 會誌「哲學研究」を發行する
 - (二) 毎年公開講演會を開く
 - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する
- 一、本會は賛助員若干名をおく 賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない 學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年三、六〇〇圓(會誌代を含む)を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

京都哲學會役員

委員

池田秀三 伊藤邦一 上田閑一 梶山好雄 木曾修能 酒井好平 佐々木善丞 清水三平 清村公代 辻村久 中谷裕 西谷裕 長谷正 服部正 日原正 平野利二 藤澤令二 寶丸月 松丸令 御牧克 水垣良 本吉良 森口美都 山田都 山本都 岡健一 吉田一 吉田一

會 告

京都哲学會公開講演會豫告

日時 十一月三日(土)午後一時半

會場 京都大學文學部第七講義室

一、間事實的世界の構造——序論……………京都大學教授 辻 村 公 一

一、考える動物たち……………京都大學教授 本 吉 良 治

※ 右終了後楽友會館にて懇談晚餐會を開きます(會費約四千元)。

※ 所屬機關長宛出張許可依頼狀御入用の方は京都哲学會までお申出下さい。

昭和五十九年四月

京 都 哲 学 會

脳と心の哲学的考察を深めておられることは周知のとおりですが、その労作は近年の心理学評論紙上に見ることができません。

また、その研究室の最近の研究活動に、部分的脳梁切断を施したサルに半球間の特異情報の転移(たとえば色は伝えるが形は伝えない)が生じるのではないかという実験的検証が進められていて、興味を惹くものがあります。左右両半球間の統合過程を明らかにしていく上で今後の進展が期待されます。かつてスベリー教授にお目にかかった折り、早くからポール・ワイスの影響を受け、この領域の研究にゲシュタルトの観点がつねに必要であると述べられていたことが、おのずから思い出されます。

以上のように、行動生物学部門で行われている諸研究は、テーマも取り扱うレベルも多様ではありますが、総じて個体が環境に適応していく過程を明らかにする目標に向かって、さまざまな視点から問題を掘り起こしているとの思いを新たにしました。

一九七四年に新設されたベックマン研究棟(行動生物学部門)の隣りに、風変わりなドーム型の音楽堂があわせて作られたお蔭で、週末にジュリアード絃楽団の演奏に接することができたのも、パサデナの冬の夜の楽しみでした。多忙極まる時期に三ヵ月の出張をお認めいただいたことを深謝する次第です。

(筆者 ひらの・としつぐ 京都大学文学部〔心理学〕教授)

(了)

↓一九頁下段からつづく。

社 会 学

上野千鶴子 聖俗理論の展開

小林 孝 行 「在日朝鮮人」問題をめぐって

筒井清忠 「社会科学における客観性」の再考察

美 学 美術史学

吉川 登 ミケランジェロ「最後の審判」

フレーゲにおける論理哲学の形成……………野本和幸

——意味論の視点から——

緯書鄭氏学研究序説……………池田秀三

探究と倫理……………伊藤邦武

——ベースにおける
プラグマティズムと規範学の理論——

〔討議(一)〕「純粹実践・理性の批判」とは
何を意味しうるか……………森口美都男

〔討議(二)〕(A) 品川嘉也氏の最近論文

『力学における決定論と意識
の自由について』を読んで……………山崎和夫

(B) 力学における決定論と

は何か……………品川嘉也
——古典力学の隠された変数——

前 号 目 次

の点からすれば、ブルクハルトに於ける・精神による過去の再生とは、著者のいう「過去に向つての自己の存在の拡張」、「過去の現在化としての内面化」(この表現はそのままではヘーゲルを思わせる)であるよりも、むしろ過去に対して現在の直接性を否定的に問題化し、現在を過去に対して外面化するという「非連続性」に於て初めて現前するような、「過去と現在の出会い」なのではなからうか。そこにブルクハルトの、例えばガダマーの解釈学のように影響作用史の連続性から過去と現在の「地平融合」を問題とする考え方との相違点もはっきり見い出されると思われる。ブルクハルトの「精神の連続性」に於けるこういう非連続性の問題は、著者も充分承知しておられるに違いない。そのことは芸術経験に於ける「そのつどの永遠性」についての叙述からもはっきりしている。しかし筆者は、ブルクハルトに於ける、過去認識の現在との連関の中に見い出される近代的主観性の批判の意味に顧みて、あえて多少のコメントをつけてみたいと思つた次第である。

いづれにしても本書は、ブルクハルトの思想の本質に肉溥する力作である。解説書の域をはるかに越えた著者の取り組み方には、著者のブルクハルトへの愛情さえも窺われる。著者のブルクハルトへの深い傾倒が彼の思想の解明を通して、一個の人間の精神的全体像にまで極まったのである。(了)

(筆者 みね・ひでき 日本学術振興会奨励研究員)

〔西洋近世哲学史、京都大学文学部受入〕

前号(五四八号)の誤植訂正

	誤	正
一二頁	それは存在論的見地	それは認識論的並びに存在論的見地
一四頁	das nur einziger Gegenstand	das nur ein einziger Gegenstand
二二頁	117)と称してゐる	116)と称してゐる
三二頁	' $\xi = \zeta$ '	' $\xi = \zeta$ '
四〇頁	' $T \neq \emptyset(e)$ '、' $T \neq \emptyset(e)$ '	' $T \neq \emptyset(e)$ '、が重復。 1 (1-2) (e)
四五頁	' $\emptyset(T)$ 'が真ならば	' $\emptyset(T)$ 'が真ならば
四五頁	' $\Psi(T, A)$ が真の場合'	' $\Psi(T, A)$ が真の場合'
五八頁	oratio obliqua	oratio obliqua bei G. Frege "
一二八頁下六行	Grundlegung	Grundlegung
一五〇頁下二〇行	比較社会学接近	比較社会的接近
欧文2頁	nction-funames	function-names
欧文3頁	aref ulfilled	are fulfilled
欧文3頁	concept \emptyset (ξ)	concept \emptyset (ξ)
欧文3頁	show aremarkable	show a remarkable

次 号 予 告

第五百五十号記念特集号

- 最後の神……………辻村公一
- ハイデッガーの思索に於ける——
- ‘状況’の変化と‘もの自身’の変化……………藤沢令夫
- プラトン『テアイテトス』151B—151Dにおける
背丈比べのバラドクスの哲学的意味——
- アリストテレス『詩学』悲劇論……………山田 晶
- における《プラグマ》の意味について……………酒井 修
- 一八〇一年夏のヘーゲル……………服部正明
- 『イエーナ時代の論理学』研究(一)——
- クマーリラの valkyrha (文章の意味) 論……………日原利国
- 華夷観念の変容……………本吉良治
- 沈黙の思考……………吉岡健二郎
- 動物の思考をめぐって——
- 海馬の「空間地図説」対「時間処理説」の検討……………平野俊二
- 美的価値の問題……………清水善三
- 曼荼羅の構成(完)……………清水善三
- 行為理論における「秩序」の問題……………中久郎
- 輪廻と超越……………梶山雄一
- 『城邑経』の縁起説とその解釈——
- 「ヨブ記」における問いの問題……………水垣 渉
- 普遍についての試論……………木曾好能
- ロック、バークリー、ヒュームの普遍論の批判的検討
- 中国古典における訓詁注釈の思想……………池田秀三
- ジャワの小学生の連想反応……………清水御代明
- 筆記反応の読みとりについての覚書
- 江戸時代における外科書と相書……………佐々木丞平
- 円山応挙の人物図研究序説——
- 「相互作用論」のモデル……………宝月 誠
- 構想力と超越の問題……………長谷正当
- インド・チベット論理学に於ける「所証相似」
(sadhyaśama) の問題……………御牧克己
- 第五百五十号記念特集号記事
- 白井二尚・田中美知太郎・長尾雅人
- 沢瀉久敬・船山信一・高峰一愚

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都二一四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年三、六〇〇圓、但し、會誌數冊分）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣に關する一切は東京都千代田區一番町一七番地創文社（振替口座東京二一九二四七二番）宛に願います
一、會員の轉居・入退會の事務及び編輯事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい

一、本誌の編輯に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京 都 市 左 京 區 吉 田
京 都 大 學 文 學 部 内

昭 和 五 十 九 年 四 月 十 五 日 印 刷
昭 和 五 十 九 年 四 月 二 十 日 發 行

編輯兼 發行 人 京 都 大 學 文 學 部 内
京 都 哲 學 會
編 輯 代 表 酒 井 修
編 輯 担 当 伊 藤 邦 武

賣 捌 所 株 式 會 社 創 文 社

久 保 井 理 津 男

東 京 都 千 代 田 區 一 番 町 一 七 番 地
振 替 口 座 東 京 二 一 九 二 四 七 二
電 話 東 京 二 六 三 一 七 一 〇 一（代 表）
所 副 所 曉 印 刷 株 式 會 社
東 京 都 文 京 區 関 口 一 一 二 四 一 八

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい
一、本誌の御註文はすべて代金送料共（一部、送料六〇圓）前金にてお送り下さい

昭和五十九年四月二十五日発行

THE JOURNAL OF PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XLVII

April

1984

No. 7

Articles

Considerations on "What is Mankind?"

—*Man, the incompleated one: fròm the viewpoint of
physical anthropology*——Akiyoshi Ehara

On the Construction of Mandala (I)

.....Zenzo Shimizu

On the Idea of Prototype.....Toshitaka Hidaka

L'expérience et la métaphysique

—*La philosophie de Jankêlévitch*——
.....Aiko Hayashi

Report

A Visit to Caltec in Pasadena.....Toshitsugu Hirano

Book Review

Torataro Shimomura: Burchhardt's Universe

.....Hideki Mine

Notes

Published by

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

ISSN 0386-9563

雑誌コード 06427-4 特別定価 1,200圓